

冬を彩る寄せ植えに挑戦

12/14

冬のガーデニング講習会

12月14日(木)、クリンクルセンターで『冬のガーデニング講習会』（市主催）を開催し、10人の参加者がクリスマス用の寄せ植えを作りました。

今回の講習会では、クリスマスツリーをイメージしたゴールドクレストのほか、真っ赤なポインセチアなど4種類の花を使用。参加者は、講師のガーデニングプランナー・



▲配置のバランスに注意しながら、思い思いに寄せ植えを仕上げる参加者

いぬいきよし 乾清さんから、「完成後の色合いをイメージして植物を配置する」、「花の根はほぐし過ぎない」などの説明を受け、自宅に飾る寄せ植えの姿を思い浮かべながら、丁寧に作り上げました。



▲細部までこだわって飾り付けていく参加者

しめ飾り作り
12月10日(日)、郷土資料館で『しめ飾り作り』（市教育委員会主催）を行いました。
この催しは、手作りのしめ飾りで新年を迎え、もたらおうと毎年、この時期に開催しており、例年定員を超える申し込みがある大人気の催しです。
郷土資料館ボランティアグループ『SLG』のメンバーから指導を受けながら、しめ縄にそれぞれの好みに合わせて扇や稲穂、平成30年の干支である『戌』などの縁起物を飾り付けた参加者は、完成した作品の出来栄に笑みをこぼしていました。

12/10

みんなのでつくる バリアフリー社会

第13回「障害者週間」記念事業

12月3日(日)、市民会館で『第13回「障害者週間」記念事業』（登別市障害者福祉関係団体連絡協議会主催）が開催されました。

障害者週間にあわせて行われる同事業は、障がいのある人が社会活動や経済活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。

今年も、自身に障がいがあり、障がい者支援に取り組む『NPO法人札幌いちご会』理事長・小山内美智子さんと、障がいのある人とないが共に働く『共働事業所もじや』に勤務する永島勝章さんの講演などが行われ、来場した約250人は障がいに対する理解を深めていきました。

12/3



▲聴覚に障がいのある人に向けて、講演内容をスクリーンに映し出すなどの配慮がなされた会場

待ちに待った白銀のゲレンデ

12/16

カルルス温泉サンライバスキー場オープン

12月16日(土)、カルルス温泉サンライバスキー場がオープンしました。

この日は第3リフトのみの運行でしたが、室蘭市から子どものスノーボードの練習に来たという新井田光俊さんは「近くにあるので、毎年のように来ています。やっぱり、広々としたスキー場はいいですね」と大満足。多くのスキーヤーやスノーボーダーとともに、雪の感触を楽しみながら、初滑りを堪能していました。

今季の営業は、3月21日(水)までを予定しており、営業時間は9時から16時までとなっています。



▲スキーヤーやスノーボーダーでにぎわうゲレンデ